

各関係機関 御中

石川県農林総合研究センター所長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

令和5年度病害虫発生予報第8号を下記のとおり送付します。

連絡先 石川県農林総合研究センター  
農業試験場 総合研究部 病害虫防除室  
電話 076-257-6903 (直通)  
FAX 076-257-9140  
E-mail kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp

## 病害虫発生予報第8号

(予報期間：3月上旬～4月中旬)

### 予報内容

#### 水 稲

- ・ **ばか苗病、もみ枯細菌病(苗腐敗症)、褐条病、苗立枯細菌病**の発生は、**やや多**と予想される。種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。  
なお、育苗にため池や河川水を利用する場合は、苗立枯細菌病の発生に留意する。

#### 麦 類

- ・ **オオムギうどんこ病**の発生は、**やや多**と予想される。発生が認められたほ場では、随時防除を実施する。

#### 果 樹

- ・ **ナシ黒星病**の発生は、**多**と予想される。一次感染期である発芽後～5月下旬までの防除を徹底する。
- ・ **カキ炭疽病**の発生は、**多**と予想される。罹病枝は発生源となるので直ちに切り、ほ場から除去する。休眠期の防除を徹底する。

#### 野菜・花き

- ・ **タマネギべと病**の発生は、**やや多**と予想される。早生種の発病に注意し、初期の防除を徹底する。
- ・ **ハダニ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。
- ・ **アブラムシ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※ 防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。  
また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。

## ---気象予報---

1か月予報（令和6年2月29日付け 新潟地方気象台）

予報期間：3月2日～4月1日

### [確率予報]

気温	低い	20%	、	平年並	40%	、	高い	40%
降水量	少ない	30%	、	平年並	30%	、	多い	40%
日照時間	少ない	40%	、	平年並	30%	、	多い	30%

### [概要]

冬型の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は平年並か高く、降雪量は平年並か少ないでしょう。

#### ・3月2日（土）～3月8日（金）

天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

#### ・3月9日（土）～3月15日（金）

天気は数日の周期で変わるでしょう。

#### ・3月16日（土）～3月29日（金）

天気は数日の周期で変わるでしょう。

3か月予報（令和6年2月20日付け 新潟地方気象台）

3月：天気は数日の周期で変わるでしょう。

4月：天気は数日の周期で変わるでしょう。

5月：天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

注 1) 発生量は平年比。

2) (+) は病害虫の発生に好適な要因、(-) は不適要因、  
(±) は好適・不適に関与しない要因を示す。

# 1 水稻の病害虫

## 苗立枯病（ピシウム菌）

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | やや少  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は並（±）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（－）               |
| 注意事項  | (1) 育苗資材や施設の洗浄・消毒を励行する。<br>(2) 育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。 |

## 苗いもち

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | 少  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の穂いもちの発生は少（－）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（－）                    |
| 注意事項  | (1) 種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。<br>(2) 種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。 |

## ばか苗病

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | やや多  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は並（±）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（＋）                         |
| 注意事項  | (1) 種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。<br>(2) 種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。 |

## もみ枯細菌病(苗腐敗症)

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | やや多  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は並（±）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（＋）                         |
| 注意事項  | (1) 種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。<br>(2) 種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。 |

## 褐条病

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | やや多  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は並（±）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（＋）                         |
| 注意事項  | (1) 種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。<br>(2) 種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。 |

## 苗立枯細菌病

- |       |  |
|-------|--|
| 発生時期  | 育苗期  |
| 発生量   | やや多  |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は並（±）<br>(2) 育苗期の気温は平年並か高い（＋）   |
| 注意事項  | (1) 種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。<br>(2) 種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。<br>(3) ため池や河川水を利用する場合は、発生に留意する。 |

## 2 麦類の病害虫

### オオムギうどんこ病

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 発生時期  | 連続発生                                 |
| 発生量   | やや多                                  |
| 予報の根拠 | (1) 現在の発生は並 (±)<br>(2) 気温は平年並か高い (+) |
| 注意事項  | (1) 発生を認めたほ場では、随時防除を実施する。            |

### オオムギ雲形病

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 発生時期  | 連続発生                                 |
| 発生量   | 並                                    |
| 予報の根拠 | (1) 現在の発生は少 (-)<br>(2) 気温は平年並か高い (+) |
| 注意事項  | (1) 発生を認めたほ場では、茎立期の防除を徹底する。          |

### オオムギ赤かび病

- |       |   |
|-------|---|
| 発生時期  | 出穂後   |
| 発生量   | 並   |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は少 (-)<br>(2) 気温は平年並か高い (+)<br>(3) 降水量はほぼ平年並 (±) |
| 注意事項  | (1) 出穂前後の降雨は発生を助長する。<br>(2) 出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を徹底する。 |

## 3 果樹の病害虫

### ナシ黒星病

- |       |   |
|-------|---|
| 発生時期  | 感染期は発芽から  |
| 発生量   | 多   |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は多 (+)<br>(2) 気温は平年並か高い (+)<br>(3) 降水量はほぼ平年並 (±) |
| 注意事項  | (1) 一次感染期である発芽後～5月下旬までの防除を徹底する。                           |

### カキ炭疽病

- |       |   |
|-------|---|
| 発生時期  | 感染期は4月以降  |
| 発生量   | 多   |
| 予報の根拠 | (1) 前年の発生は多 (+)<br>(2) 気温は平年並か高い (+)<br>(3) 降水量はほぼ平年並 (±) |
| 注意事項  | (1) 罹病枝は発生源となるので直ちに切り、ほ場から除去する。<br>(2) 休眠期の防除を徹底する。       |

## 4 野菜・花きの病害虫

### タマネギべと病

- 発生時期 感染期は4月上旬  
発生量 やや多  
予報の根拠 (1) 気温は平年並か高い (+)  
(2) 降水量はほぼ平年並み (±)  
注意事項 (1) 早生種の発病に注意し、初期の防除を徹底する。

### 灰色かび病

- 発生時期 連続発生  
発生量 やや少  
予報の根拠 (1) 現在の発生は並 (±)  
(2) 気温は平年並か高い (-)  
(3) 降水量はほぼ平年並み (±)  
注意事項 (1) 発生初期の防除を徹底する。  
(2) ハウス内の換気に努める。

### ハダニ類

- 発生時期 連続発生  
発生量 やや多  
予報の根拠 (1) 現在の発生は並 (±)  
(2) 気温は平年並か高い (+)  
注意事項 (1) 抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

### アブラムシ類

- 発生時期 連続発生  
発生量 多  
予報の根拠 (1) 現在の発生はやや多 (+)  
(2) 気温は平年並か高い (+)  
注意事項 (1) 抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。